

# 事業評価調書

## ◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	23691
事業名	札幌スタイル推進費					
評価担当課	所属名	経)産業振興部 地域産業振興課				
	課長名	小室 匡	担当者名	須藤、大久保	電話番号	211-2392
施策名	主	創造性を生かしたイノベーションの誘発				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	AP2015事業目標: 認証製品を持つ企業数(累計)100社 AP2019事業目標: 認証製品の年間売上高300百万円			
		長期	・札幌の良好な都市イメージを活用した地域ブランドを構築し、市内中小企業等の競争力強化を図る。 ・当該ブランドを活用し、札幌のシティプロモートに寄与する。			
	取組内容	①ブランドの認証、管理 ・札幌スタイルの認証事業、ブランドの認知度向上のための広報活動 ②ブランドを活用したプロモーション支援 ・札幌スタイルショップやショーケース等の情報発信拠点の運営、百貨店等の催事出店の仲介 ・札幌スタイル認証製品を持つ企業の任意団体「札幌スタイル機構」が実施するプロモーションに対する支援				
	実施結果	・認証事業: 新規3社4製品、追加3社7製品、更新13社25製品を認証(2022. 1. 1現在41社123製品を認証) ・認証委員会: 審査で2回、認証事業の手法検討や応募企業との意見交換などの内容で4回実施 ・ブランドプロモーション事業: ショーケース展示や、製品カタログ作成、札幌スタイルショップの運営のほか、札幌スタイル機構がイベント開催する際の広報協力				
事業実施における工夫点	小規模で従事者を派遣できず催事に出店できないという企業課題を解決するため、販売員を派遣する支援を実施したほか、試験的な取り組みとして、新規認証された企業と認証委員の継続的な意見交換を行うなど、札幌スタイルを通じた販路拡大や製品価値の向上のための取組を行った。					
対象者	市内中小企業者	開始	平成16年度	終了	令和4年度	
関連法令・条例・要綱等	なし					
他都市の状況	東京都墨田区: すみだモダン 大阪府: 大阪製ブランド 富山県: 富山プロダクツ					

## ◎事業費

(単位: 千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	15,103	18,000	13,644	18,000	
うち特定財源	0	0	0	0	
人工	1.0	1.0	1.0	1.0	
人件費	7,200	7,200	7,200	7,200	
計(事業費+人件費)	22,303	25,200	20,844	25,200	
事業費の内訳	令和3年度決算	<ul style="list-style-type: none"> <li>札幌スタイル認証審査、会議に関する費用1,749千円</li> <li>札幌スタイルショップ運営に関する費用3,751千円</li> <li>札幌スタイルショーケース管理運営に関する費用1,120千円</li> <li>雪まつりオンラインイベント開催費1,594千円/催事販売員支援事業2,200千円</li> <li>カタログ制作634千円/札幌スタイル機構への負担金2,000千円</li> <li>札幌スタイルPRに関する費用413千円/その他事務費183千円</li> </ul>			
	令和4年度予算	<ul style="list-style-type: none"> <li>札幌スタイル認証審査、会議に関する費用1,547千円</li> <li>札幌スタイルショップ運営に関する費用3,795千円</li> <li>札幌スタイルショーケース管理運営に関する費用1,131千円</li> <li>雪まつりオンラインイベント開催費3,000千円/催事販売員支援事業3,000千円</li> <li>カタログ制作1,750千円/札幌スタイル機構への負担金1,500千円</li> <li>札幌スタイルPRに関する費用1,968千円/その他事務費309千円</li> </ul>			

◎検証(振り返り)

活動指標1		指標名	認証製品を持つ企業数(累計)		
		令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
		96	102	105	105
活動指標2		指標名	札幌スタイル認証製品数(単位:累計個数)		
		令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
		315	330	326	326
成果指標1		指標名	認証製品の年間売上高(単位:百万円)		
		令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
		256	280	267	300
成果指標2		指標名			
		令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	昨年度から引き続きでの仙台市の藤崎百貨店催事出店に加え、今年度から開始した販売員支援業務でのJR京都伊勢丹への初出店、そして民間企業とのコラボ催事出店を行い、継続した引き合いだけでなく、新たな取り組みによる民間企業同士の繋がりを産み出し、販路拡大の機会創出に寄与した。 指標としている認証製品の年間売上高についても、設定目標には未達となったが、コロナ禍における影響を受けながらも前年比増となっている。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	雪まつり(オンライン)や道内外の百貨店への出展、札幌駅JRタワーイーストでのショップの運営などの販売機会の提供、大通駅コンコースでの常設のショーケース展示やカタログ制作といったPRツールの提供など、認証製品を通じたブランドPRを行っており、札幌スタイルの認知度向上のための各種支援は必要なものであり、事業規模としては適切である。			
事業の実手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	・製品の認証業務やブランドPRは札幌市が、製品の販路拡大は札幌スタイル機構が中心となって行うなど、官民の役割分担を意識した事業を展開している。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	・認証企業へのアンケート結果から、売上増加、PR・露出の機会増加、人的ネットワーク拡大、企業としての信頼度向上など、認証による効果を実感しているとの回答が多い。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外    市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映				
今後の改善点	既に市場で認知され、安定した売上を計上し、札幌スタイル事業で実施している「販売支援」を受けずとも自立している製品・企業が存在する一方、企業規模によっては自力での販路拡大に取り組めていない先もある。より多くの企業が自ら販路拡大に取り組めるよう、事業の実手法について検討・見直しを行う。				
前回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	魅力ある認証製品の発掘を行うため、募集PR動画を作成したほか、新たに販売員を派遣する支援を実施し、販売機会の創出及びブランドのPRの動画作成を行った。			見直し効果額 (前年度)	0 千円
今回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	新規募集をPRするための動画制作を行い、YouTubeの札幌市広報部チャンネルで公開したほか、神戸市と共同で冊子制作を行うなど、ブランドPRにおいても新たな取り組みを行った。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	○ 改善    ○ 現状維持    ● 休止・廃止 認証企業という枠組みからものづくり企業へ視野を広げ、より多くの市内製造業の支援を行うべきとの考えに基づき、企業自らが販路拡大を行うための支援へ舵を切るべく、今年度をもって事業を終了することとした。			
	予算	○ 拡充    ○ 現状維持    ○ 縮小    ● その他 事業見直しにより、令和5年度をもって本事業終了とする。			見直し効果額